

2018. 5. 12.

佐鳴台協働センター

# 佐鳴台地区社会福祉協議会

## 総会資料

### 次 第

1. 開会のことば 八木副会長
2. あいさつ 橋本会長  
浜松地区センター長  
石川淳様
3. 議 事
  - (1) 第1号議案 平成29年度事業報告
  - (2) 第2号議案 平成29年度会計報告
  - (3) 第3号議案 平成30年度役員を選任並びに組織
  - (4) 第4号議案 平成30年度事業計画案
  - (5) 第5号議案平成30年度予算案
  - (6) その他
4. 閉会のことば 嶋津副会長

事業名	実施月	活動内容
安 独居高齢者等調査	7、8、12	◎ 自治会、民児協を通して、日ごろあまり接することのない敬老会対象者、特に独居高齢者を中心に敬老会や新春を寿ぐ昼食会の案内状を届けながらご機嫌伺いをしてきた。 声かけ運動にもつながり、効果的であった。
ふ 長寿を祝うお花見会	4	◎ 65歳以上の住民の健康と長寿を祝うお花見会は雨天のため中止し、弁当などを協働センターで配布した。 都合で来れない方には社協の役員が届けた。(400名)
啓 総会	5	◎ 佐鳴台協働センターホールで開催し29年度の活動、決算及び30年度の計画案、予算案が承認された。(60名)
ふ 敬老会	9	◎ 佐鳴台小学校で自治会連合会と共催する。 1部では式典、2部ではマジックショーと小中学校のバンドの演奏を楽しんでもらった。(409名)
安 相談日	水曜日午前	◎ 専門家による認知症・ケアの相談会(毎回2、3名) ◎ 他の機関と連絡を要する相談は1件あった。
安 ふれあいサービス	水曜日午前	◎ 24件24回派遣。 ◎ ふれあいサービスのボランティアの若返りを図るPRをし、29年度5名の若手がボランティアに加わった。
ふ グラウンドゴルフ	6、11、3	◎ 地域交流を深めるため年間3回小学校のグラウンドを借りて実施してきた。1回目、2回目は準備に不備があったので、3回目は、グラウンドを8コースに分けて、実施したところ、たいへんスムーズにできた。初心者への参加も増え、大いに盛り上がった。毎回40名ほどの参加があった。体振の協力もあり、ありがたかった。なお、お花見会の抽選会用のギフトも使わせてもらい、みなさんが張り切って楽しんでいた。
安 健康教室	7	◎ 「薬とサプリメントの服用について」曾布川美登理氏を招き、薬とサプリメントの正しい飲み方について指導してもらった。(30名)
	9	◎ 「ロクトレの効用について」講師に横井佳澄氏を(包括センター)と「笑いヨガ」講師紅林知子氏を招き、実践指導をしてもらった。(30名)

	1 1、2	◎ 「ふじ33プログラム」のしずおか健康長寿財団にお願いし、健康長寿をめざし「ふ」だんの生活のなかで、「じ」っこう可能な、運動・食生活・社会参加の「3」つの分野で、[3]ヵ月間実践記録に挑戦した。財団からは、毎回5名のスタッフが来てくれて、いろいろと検査とアドバイスをしてくれた。(40名)	
	3	◎「脳活性化ゲームづくり」ペグ・ソリテリア(欧州で囚人の脳活のためのゲーム)をつくり、頭と、目と右手、左手交互に使い、先を読んでゲームを楽しみながら、脳活運動を楽しんだ。 (20名)孫のため、サロン活動のためにと製作道具を借りに来る方もあった。	
啓	社協講演会	3	◎ 「老いてますます元気講座第10章」として浜松市生涯学習の講師である島篤史氏をまねき、「笑いで健康談義」を遠州弁で話してもらった。 健康長寿を維持する三つの要素として自助、五感の力、笑いの力をうまく織り込まれていた。(40名)
ふ	サロン活動	年間6回	◎ ヘルスボランティア大地のおしゃべりサロン(6回)参加者は毎回40名計240名
		年間12回	◎ 1丁目サロン「歌と談話健康講座など」(120名)
		年間10回	◎ 県住サロン「みんなで楽しく歌おう語ろう会」(100名)
		年間12回	◎ 2丁目サロン「みんなで楽しくおしゃべりとゲーム」(150名)
		年間11回	◎ 脳活五七五サロン(110名)
		年間10回	◎ 「さくらんぼクラブ」未就園児のための「子育てサロン」(200名)
子	親子柏餅づくり	4	◎ 昭和の日に因んで手作り柏餅づくりを実施した。 最初からすべて手作りで親子とも楽しくできた。(8組20名)
子	昔の遊び	1 0	◎ 協働センターの「ふるさとまつり」の一環として子どもたちと年寄りの世代間交流を図る「昔の遊び」開催した。 地域の老人クラブのみなさんが師範役となり、子どもたちと一緒に昔の遊びを楽しんだ。(200名)
ふ	世代間交流事業「餅つき大会と輪投げ大会」	1 2	◎ 協働センターで子どもに餅つきと昔の遊びを体験させ、子ども会、子ども会の親、老人クラブと三世代の交流を図ることを目的として開催した。参加者は、子ども132名、親48名、高齢者33名、中学生37名、その他12名計262名。 中学生のボランティアががんばってくれ大変助かった。 (歳末福祉事業補助金)

ふ	新春を寿ぐ昼食会	1	◎ ひとり暮らしの後期高齢者を招き、自治会長、民生・児童委員、ボランティアとともに昼食を楽しみ、また、余興のマジックショーも楽しんでもらった。なお、会場は、1・2・3丁目、4・5・6丁目は協働センター、県住は県住集会所（117名）（歳末福祉事業補助金）
子	登校指導	毎月第1月曜日	◎ 月1回地域安全推進委員の方の社協の子育て支援の一環として、ボランティアで交通安全指導とあいさつ運動に協力をしてきた。（240名）
ふ	昔の歌を元気に楽しく歌おう会	6、10、3	◎ 昔の歌をみんなで元気よく楽しく歌おう！をモットーに引きこもりがちな方などを社協役員に声掛けをしてもらい輪をできるだけ広げていく目的で、講師を頼み、3回開いた。 とても楽しく元気よく皆さん歌うことができた。また、講師に歌に因んだ話も付け加えてもらった。（150名）
広	地区社協だより・ニュースの発行	随時	◎ 各戸配布、回覧、ホームページで地区社協の活動状況や福祉に関する情報を流すとともに地域福祉の啓発をしてきた。 ◎ 「佐鳴の輪」の充実の図るとともに、社協のみならずこの地域の情報を発する場としてさらに充実してきた。（様々な情報や活動の記録の保存の場）
啓	オレオレ詐欺防止講座	5	◎ オレオレ詐欺被害が毎日のように報道されていたので、交番長にお願いして「オレオレ詐欺防止について」を総会の折に話してもらった。
ボ	ボランティアグループの発掘	7	◎ ふれあいボランティアの若返り。地区内のボランティアを発掘し、ボランティア養成講座を市社協に依頼した。5名のボランティアが増えた。
研	研修会	随時	◎ 社会福祉活動の理解を深めるため特に「新総合事業」の理解を深めるために勉強会に参加した。また実践につながるように社会福祉に関する勉強会や講演会に参加してきた。（66名）
その他		随時	◎ 気楽に読んで、気楽になれる本のコーナー（50冊）

第2号議案

平成29年度佐鳴台地区社会福祉協議会決算報告

収入の部

単位：円

科 目	29年度予算額	29年度決算額	増 減	説 明
市社協補助金	106,330	106,330	0	運営費補助金
市社協補助金	300,000	245,000	55,000	地区社協推進事業（基本補助）
市社協補助金	146,550	146,000	550	地区社協推進事業（加算補助）
市社協補助金	100,000	100,000	0	サロン活動支援事業
市社協補助金	30,000	20,000	5,200	たすけあい支援事業（基本補助）
		4,800		ふれあい支援補助金 2000円×24回
市社協補助金	300,000	300,000	0	歳末福祉事業
市補助金	45,000	45,000		28年度分補助金
連合会補助金	240,000	240,000	0	佐鳴台地区自治会連合会補助金
その他の収入	50	3	47	預金利息
繰越金	454,997	454,997	0	前年度繰越金
合 計	1,722,927	1,662,130	60,797	

支出の部

単位：円

科 目	29年度予算額	29年度決算	増 減	説 明
事 務 費	100,000	123,585	-23,585	電話代31,788、通信費等50,328 事務費41,469
広 報 費	200,000	59,353	140,647	佐鳴台協働センター印刷代59,353
活 動 費	1,320,000	1,070,361	249,639	花見会36万、三世代交流餅つき大会10万 新春を寿ぐ昼食会19万、サロン活動14万 研修費5万、講演会等謝金16万、保険4万
備 品 費	100,000	0	100,000	
予 備 費	2,927	22,200	-19,273	葬儀生花等
小 計		1,275,499		
繰越金	0	386,631	-386,631	
合 計	1,722,927	1,662,130	60,797	

科目間の流用は認める。

平成29年度収入－支出 1,662,130円－1,275,499円＝386,631円

平成30年4月 佐鳴台地区社会福祉協議会 会 長 橋 本 博 行

会 計 笠 原 祥 充

平成30年4月 関係書類を精査し、適正に処理されていることを報告します。

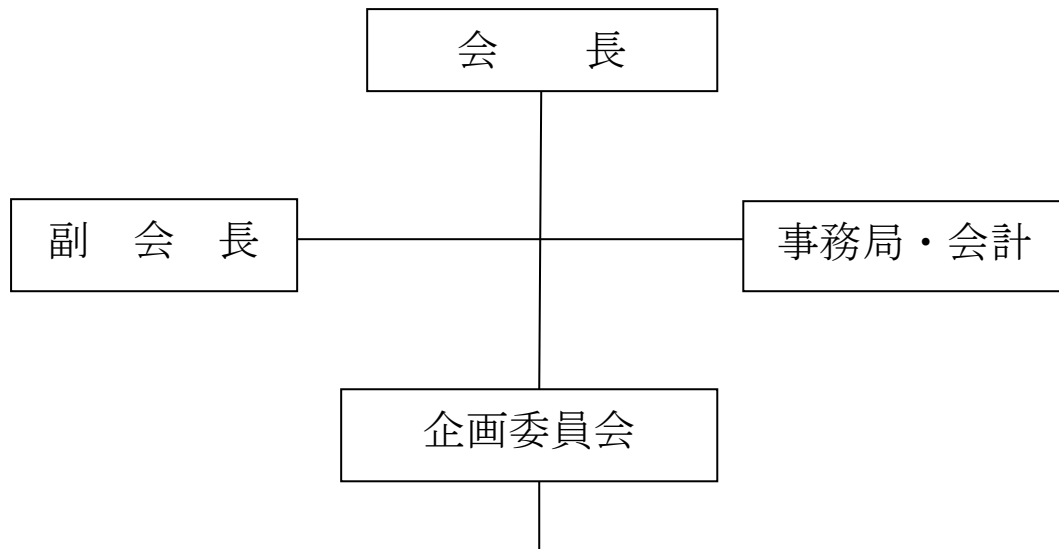
佐鳴台地区社会福祉協議会 監 事 大 石 文 男

監 事 坂 本 眞 二

NO	役職名	氏名	所属団体
1	相談役	鈴木陽子	佐鳴台小学校長
2	相談役	中根信一	佐鳴台中学校長
3	相談役	平澤啓樹	佐鳴台協働センター長
4	相談役	寺田真康	佐鳴台交番長
5	相談役	中条 操	元自治会連合会会長 一丁目老人クラブ会長 地域安全推進員
6	会長	橋本博行	自治会連合会長 県住自治会長 民生・児童委員
7	副会長	八木利由喜	六丁目自治会長
8	副会長	嶋津歌絵	民生・児童委員会会長 五丁目副会長
9	会計	笠原祥充	民生・児童委員
10	事務局長	織田晴義	元地区社協会長 三丁目老人クラブ会長
11	同次長	高松麻里	民生・児童委員
12	監事	神村益弘	五丁目自治会長
13	監事	鈴木儀雄	四丁目自治会長
14	企画委員	大石文男	一丁目自治会長
15	企画委員	加藤鎌造	二丁目自治会長
16	企画委員	大塚幸作	三丁目自治会長
17	企画委員	中村つぎ子	ヘルスボランティア大地
18	企画委員	松田守弘	佐鳴の輪編集
19	企画委員	山口かおる	民生・児童委員 子育て支援グループ
20	企画委員	大屋久美子	主任児童委員
21	委員	唐木定義	一丁目副自治会長
22	委員	大谷建二	二丁目副自治会長
23	委員	市川隆義	三丁目自治会総務
24	委員	山下一郎	県住副自治会長
25	委員	高見安昭	四丁目副自治会長
26	委員	白都道代	六丁目副自治会長
27	委員	竹内俊子	民生児童委員
28	委員	森永雅純	民生・児童委員

NO	役職名	氏 名	所属団体
2 9	委員	高柳光雄	民生・児童委員 二丁目老人クラブ会長
3 0	委員	高柳康広	民生・児童委員
3 1	委員	岩上京子	民生・児童委員
3 2	委員	川崎明美	民生・児童委員
3 3	委員	岡崎喜和子	民生・児童委員
3 4	委員	豊田嘉代子	民生・児童委員
3 5	委員	小野寺信子	民生・児童委員
3 6	委員	上口万鶴	民生・児童委員
3 7	委員	竹村裕美	民生・児童委員
3 8	委員	主任児童委員	
3 9	委員	原田健一郎	佐鳴台商店街繁栄会長
4 0	委員	栗田高典	小学校 PTA 会長
4 1	委員	柴田真巳	中学校 PTA 会長
4 2	委員	花谷雅史	体育振興会長
4 3	委員	久野惇美	県住老人クラブ会長
4 4	委員	四丁目老人クラブ会長	
4 5	委員	二見久美	子ども会連合会長
4 6	委員	鈴木成欣	佐鳴台小学校校医
4 7	委員	高平健一郎	佐鳴台中学校校医

# 佐鳴台地区社会福祉協議会組織



	事業内容	場 所	担 当
1. 広報事業	社協だより 社協ニュース ホームページ	ふれあいコーナー	( 事 務 局 ) (       "      ) ( 佐 鳴 の 輪 )
2. 福祉啓発事業	講演会 施設訪問	協働センター 施設	( 事 務 局 ) (       "      )
3. 地 域 交 流 ・ 連携事業	長寿を祝う花見会 敬老会 三世代交流餅つき 大会 長寿を祝う新年会 サロン活動	佐鳴湖東岸 佐鳴台小体育館 協働センター  協働センター他 各会場	( 連 合 会 ・ 事 務 局 ) (   連 合 会   ) ( 子 ど も 会 ) ( 老 人 ク ラ ブ ) ( 連 合 会 ・ 民 児 協 ・ 事 務 局       ) ) ( 各 担 当 )
4. ボランティア活動 推進事業	ボランティア活動 育成講座・研修 ふれあい支援活動	協働センター他  依頼者宅	( 事 務 局 他 )  ( ボ ラ ン テ ィ ア )
5. 安心推進事業	相談活動 ふれあい支援 登校指導 健康教室 体験教室 歌おう会	ふれあいコーナー ふれあいコーナー 地区内 協働センター他 協働センター他 協働センター	( 民 児 協 ・ 事 務 局 ) (       "      ) ( 地 域 安 全 推 進 員 ) ( 事 務 局 ) (   有   志   )
6. 子育て支援・ 障がい者支援事業	昔の遊び 子育て支援	協働センター 協働センター	( 老 人 ク ラ ブ 他 ) ( さ く ら ん ぼ 広 場 )
7. その他	高齢者調査	ふれあいコーナー	( 連 合 会 ・ 民 児 協 )



第4号議案 平成30年度佐鳴台地区社会福祉協議会事業計画

事業名	実施月	活動内容
子 親子柏餅	4	◎ 「昭和の日」に因んで、昭和の前半の頃の「柏餅づくり」をすべて素材から親子で作る。 4月29日（昭和の日）9：00～ 協働センター料理教室
啓 総会	5	◎ 佐鳴台協働センターホールで開催する。
交 昔の歌を元気よく楽しく歌おう会	5、10、2	◎ 昔の歌をみんなで元気よく楽しく歌おう！をモットーに引き込みがちな方などを社協役員に声掛けをしてもらい、輪（和）をできるだけ広げていきたい。 講師はすでに施設などで活動している方を依頼してある。昔の歌に因んだ談話も楽しんでもらう。
交 グラウンドゴルフ大会	6、10、3	◎ 社協会長杯グラウンドゴルフ大会を体育振興会の協力を得て開催する。
安 独居高齢者等調査	7、8	◎ 自治会または民生・児童委員で敬老会対象者、新春を寿ぐ会対象者、長寿を祝うお花見会対象者に「ご機嫌伺い」を兼ね案内状を届ける。
交 社協輪投げ大会	11、2	◎ だれでも気軽に参加して楽しめる輪投げ大会をめざす。引きこもりがちな方を勧誘する。どこでも気軽にできるから地域高齢者の居場所づくりとして広めていきたい。
啓 地域のニーズ調査	8	◎ 地域住民のニーズを調査する。
交 敬老会	9	◎ 佐鳴台小学校で自治会連合会と共催する。1部と2部に分け、2部では演芸等を楽しんでもらう。
子 昔の遊び	10、12	◎ 協働センターの「ふるさとまつり」「三世代交流餅つき大会」の一環として子どもたちと年寄りの世代間交流を図る「昔の遊び」を開催する。 (また小学校への講師派遣も)

<input type="checkbox"/> 世代間交流事業「餅つき大会と輪投げ大会」	1 2	◎ 協働センターで子どもに餅つきと輪投げ大会、昔の遊びを体験させることを目的とし、子ども会、子ども会の親、老人クラブと三世代の交流を図る。 (歳末福祉事業補助金)
<input type="checkbox"/> 新春を寿ぐ昼食会	1	◎ ひとり暮らしの後期高齢者を招き、自治会長、民生・児童委員、ボランティアとともに昼食を楽しむ。また、余興も楽しんでもらう。(歳末福祉事業補助金) 1・2・3丁目 協働センター 県住 県住集会所 4・5・6丁目 協働センター ※送迎方法の工夫をする。人数が増えた場合ホールを借りるか、グループ編成の工夫をする。
<input type="checkbox"/> 講演会	2	◎ 「老いてますます元気講座第11章」
<input type="checkbox"/> 講演会	2	◎ 「戦後の浜松市史の裏話」(仮題)
<input type="checkbox"/> 男性の為に料理教室	3	◎ 高齢を迎える男性の将来的な食生活の不安解消のためと脳の活性化のために料理教室を開催する。(予算調整)
<input type="checkbox"/> 健康と長寿を祝うお花見会	3	◎ 65歳以上の住民の健康と長寿を祝うお花見会を実施する。昼食とお楽しみ抽選会(自治会・社協)を楽しんでもらう。 3月31日(日)
<input type="checkbox"/> サロン活動	毎月	◎ ヘルスボランティア大地のおしゃべりサロン(6回) ◎ 1丁目サロン(12回)「楽器に合わせて」 ◎ 県住サロン(10回)「みんなで楽しく歌おう会」 ◎ 2丁目サロン(12回)「みんなで楽しくおしゃべりとゲーム」 ◎ 何でもかんでも五七五サロン(12回)「何でもかんでも五七五で脳の活性化」 ◎ 子育てサロンさくらんぼ広場(10回)「未就学児・親の支援」 ◎ カラオケサロン(24回) ◎ サロンのないところにサロンを!

<p>安 健康教室</p>	<p>年間12回</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 第1回「笑いヨガ」(浜松笑いヨガ知ちゃん先生) 6月25日(月) 10:30～協働センター児童室</li> <li>◎ 第2回「家庭で出来る健康体操と健康相談」(保健所)</li> <li>◎ 第3回「認知症予防と相談」(施設指導員)</li> <li>◎ 第4, 5, 6, 7回「健康長寿をめざして・・・3ヵ月間運動、食生活、社会参加、グループ課題への挑戦」(しずおか33プログラム予約済み。対象は県住民、会場は集会所)</li> <li>◎ 第8回「脳活ゲーム…将棋の楽しい遊び方」(シニア)</li> <li>◎ 第9回「誤嚥対策」(専門医師)</li> <li>◎ 第10回「バランスの良い食生活」(管理栄養士)</li> <li>◎ 第11回「心のバランス」(カウンセラー)</li> <li>◎ 第12回「危険箇所点検ウォーキング」</li> </ul>
<p>交 体験教室</p>	<p>7 7 9 10 11</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ ペタンク教室(講師は市老人クラブへ)</li> <li>◎ 室内ペタンク教室(講習受講者)</li> <li>◎ だれにでもできる健康のためのヨガ教室(専門家)</li> <li>◎ 座禅体験(禅僧)</li> <li>◎ 「正しいウォーキング」(レククラブ)</li> </ul>
<p>子 読み聞かせ講座</p>	<p>8 8</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 読み聞かせ講習会(市図書館)</li> <li>◎ 読み聞かせ講習会(NPO)</li> </ul>
<p>安 相談日</p>	<p>水曜日午前中</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ なんでも相談。関係機関との連携を密にする。また、気軽におしゃべりできる場とする。なお、専門家による相談会も年数回実施する。</li> </ul>
<p>安 ふれあいサービス</p>	<p>随時</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 電話で受付、ボランティアへ連絡する。対応については事務局がコーディネートする。</li> <li>◎ ふれあいサービスのボランティアを募集し、市社協に講師をお願いする。</li> <li>◎ ボランティアに講習会へ参加してもらう。</li> </ul>
<p>子 登校指導</p>	<p>毎月第1月曜日</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 学校教育と地域住民とでのあいさつ運動を兼ねた登校指導の実施。(地域安全推進員の保険の対象)</li> </ul>
<p>安 交通安全と防犯講座</p>	<p>年1回</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 自転車の事故と賠償問題</li> <li>◎ 高齢者のオレオレ詐欺などの被害を食い止める上で日頃の心得を事例をあげて話してもらう。 (浜松中央署)</li> </ul>

<p>〔広〕 地区社協だより、ニュースの発行</p>	<p>年間 20 回</p>	<p>◎ 各戸配布、回覧、ホームページで地区社協の活動状況や福祉に関する情報を流すとともに地域福祉の啓発をする。(活動の記録の保存)</p>
<p>〔研〕 ボランティアグループの発掘</p>	<p>随時</p>	<p>◎ ふれあいボランティアの若返り。地区内のボランティアを発掘し、そして継続的な育成と支援をする。</p>
<p>〔研〕 研修会</p>	<p>随時</p>	<p>◎ 社会福祉活動の理解を深めるため特にボランティア研修会への参加、実践につながるようにする。また、社会福祉に関する講演会に参加する。さらに新総合事業についてはこれからの高齢者福祉の課題が分かるので団塊の世代の参加を呼び掛ける。</p> <p>◎ 施設の見学</p>
<p>〔研〕 遺産相続講座</p>	<p>1 1</p>	<p>◎ 遺産相続について (みずほ)</p>
<p>その他</p>	<p>随時</p>	<p>◎ 必要に応じ企画委員会で検討する。</p>

## 30年度事予算

《収入》

(単位：円)

科 目	29決算額	30予算額	増 減	説 明
市社協補助金	106,330	106,330	0	運営費補助金
市社協補助金	245,000	245,000	0	地区社協推進事業（基本補助）
市社協補助金	146,550	146,000	0	地区社協推進事業（加算補助）
市社協補助金	100,000	100,000	0	サロン活動支援事業
市社協補助金	20,000 4,800	20,000 4,800		たすけあい支援事業（基本補助） ふれあい支援補助金¥200X24回
市社協補助金	300,000	300,000	0	歳末福祉事業
市補助金	45,000	0	45,000	29年度より市社協基本補助へ
連合会補助金	240,000	240,000	0	自治会連合会補助金
その他の収入	3	3	0	利息
繰越金	454,997	386,631	68,366	
合 計	1,662,130	1,548,764	113,366	

《支出》

(単位：円)

科 目	29決算額	30予算額	増 減	説 明
事務費	123,585	150,000	-26,415	
広報費	59,353	180,000	-120,647	社協だより外部印刷10万、自己印刷8万
活動費	1,070,361	1,105,000	-34,639	柏餅1万、三世代交流餅つき10万、新春を 寿ぐ会20万、サロン活動16万、研修費 5万、講演会3万、歌おう会3万、 <u>地域交流</u> <u>5万</u> 、 <u>活動保険料5万</u> 、 <u>健康教室6万</u> 、 <u>体験</u> <u>講座2.5万</u> 、 <u>他講座2万</u> 、 <u>男の料理4万</u> <u>新サロン4,5,6丁目6万</u> 、 <u>カラオケ2万</u> 協働センターまつり2万、その他の活動5万 お花見会13万
備品費	0	100,000	-100,000	ペタンク用具など
予備費	22,200	13,764	8,436	
繰越金	386,631		386,631	
合 計	1,662,130	1,548,764	113,366	